

第5回までは、「アメリカ」と「日本」の「フランチャイズ・ビジネス」の「発展史」のあらましを説明しましたが、今回からは詳細について説明しましょう。

Ⅱ アメリカにおける発展の歴史

[1] 1800年代のアメリカ

(1) フランチャイズ・ビジネスの第1号

アメリカの「フランチャイズ・ビジネス」の第1号といわれています「シンガーミシン」は、1863年に誕生したといわれていますが、1863年といいますが、南北戦争の真最中ばかりでなく、アメリカは1776年7月4日が建国の日ですから、およそ建国から87年後ということになります。

1800年代の後半は、それまで完全な農業国でありましたアメリカは、南北戦争を契機に北部を中心とした工業化と都市化と、中西部を中心とした近代的な農業化への道を歩み出しました。

小売業にしろフードサービス業にしろ、いわゆる流通業はどの国においても、その国における社会的経済的環境の変化の影響を受け、また風土や文化を端的に表現しますが、特にアメリカは歴史が浅い国であるために、その事を如実に物語っています。

(2) デパートメントストアの誕生

アメリカの小売業の歴史に本格的に登場したのが、デパートメントストアです。世界最初のデパートメントストアは、1852年にアリスティド・ブーシー (Aristide Boucicaud) がパリに操業した「ボン・マルシェ (Bon Marche)」です。

これを学んでアメリカにおいてデパートメントストアの第1号店を開店したのは、そのわずか6年後の1858年にニューヨークの6番街の「メーシー (Macy)」です。その後、1861年にフィラデルフィアに「ジョン・ワナメーカー (John Wanamaker)」が、1865年にはシカゴに「マーシャル・フィールド (Marshall Field)」というように続々誕生しました。

近代都市とデパートメントストアは、ゆりかごの中の双生児といわれますように、大都市への人口の集中化によって新しく創出された需要の増大に対応して生まれたもので、豊富な品揃えとお客様が自由に商品を選択ができるという買物の楽しさを提供したことがお客様の心をくすぐり、その後大都市のシンボリック的存在として成長していきますが、これらデパートメントストアの誕生は、南北戦争以前であることが印象づけられます。

(3) 食品店のチェーン化

1859年にお茶の安売りから出発した「グレート・アメリカン・ティ (Great American Tea)」は、1869年に「グレート・アトランティック・アンド・パシフィック・

ティ (Great Atlantic & Pacific Tea)」と社名を改め、食品店のチェーン化を始めたのであり、これがチェーン・ストア時代を築く基礎づくりを行いました。これが、今日の「A&P」の創業です。

(4) 大陸横断鉄道の完成

すでに南北戦争も終わり、1869年には最初の大陸横断鉄道が完成し、長距離旅行を可能にしたばかりか、カリフォルニア州の農産物がより安い価格で、東部の市場に回るといように流通手段の改革がなされました。また、広大な地域に人々を移住させ、たんなる農村にすぎなかった場所を大都会に転換させ、郵便馬車を鉄道に転換することにより、郵便を発達させました。

(5) メール・オーダーハウス

19世紀から20世紀にかけては、デパートメントストアが大都市の消費者に対応して発展していきますが、農村部における消費に対応できませんでした。しかし、1872年に「モンゴメリー・ワード (Montgomery Ward)」と1886年に「シアーズ・ローバック (Sears Roeback)」が創業した。

この両社共に、後にゼネラル・マーチャンダイズ・ストア (General Merchandise Store : GMS と略す) になりましたが、当初はメール・オーダー・ハウス (Mail Order House) であった。きしくも両社の本社はシカゴで、交通の要所として発達した地の利を生かして、鉄道と郵便の発達と共に、大都市の商業機能で生かしきれない地域の方々をカバーしました。

(6) バラエティ・ストア

1800年代においては、小売業における全く新しい優れた着想で生み出されたのが、1879年に創業した「F.W. ウールワース (F.W. Woolworth)」です。「ウールワース」は、非食品の分野で5~10セントの商品の品揃えをしたバラエティ・ストアの誕生でした。

(7) 1800年代

1800年代のフードサービスにおいては、まだチェーンの兆しはまったく見られません。アメリカで初めてレストランと名づけられて食事をサービスする商売が出現したのは、1830年代に入ってからです。

アメリカのフードサービスの歴史は「デルモニコ (Delmonico)」から始まったといわれています。「デルモニコ」以前にも、アメリカにレストランらしきものがなかった訳ではないですが、名実ともに「レストラン」と認められているのは、この「デルモニコ」が第1号といわれています。

1870年代に入りまして、鉄道や船の旅行が発達するとともに、船中の食堂や食堂車を生み出し、豪華な食事が非常に評判になりました。また、同時に鉄道や船の旅行の発達は、ホテルの発達を生み、ホテル内のレストランも普及していきました。

《 編 集 後 記 》

最後までお付き合いいただき、ありがとうございます。

天高く馬肥ゆる秋。今まさに秋本番です。食欲の秋、スポーツの秋、など秋にもいろいろありますが、芸術の秋でもあります。

11月3日は「文化の日」です。この「文化の日」は明治天皇の誕生日を起源に、天長節、明治節と名称を変遷し、1948年より明治天皇が熱心な文化の支援者であったこともあり、「文化の日」として国民の休日となり現在に至ります。

普段「文明」の権化のような私たちビジネスマンは、日夜、論理・理性・計数・結果と戦い、左脳を駆使して働いています。しかも現代のビジネスは、分・秒単位でのスピード勝負、時間勝負です。常に時間に追いかけてられますから、どうしても心に余裕がなくなりがちです。

あなたの表情も能面だったり、きつい顔になっていませんか。

時間に追われる日常から離れ、一息入れてみませんか。美術、演劇、音楽といった「文化」は、非日常性が強く日常の時間空間から解放してくれます。

「笑顔」になれます。たまには「文化」に触れて、心にゆとりを取り戻しましょう。

現在日本にある美術館・博物館は1432あります。東京だけでも127箇所あります。秋の一日、喧騒を離れ、ゆったりと、「笑顔」で、「文化」を楽しんではいかがでしょうか。

くれぐれもご自愛の程。

『 東京で開催中の主な美術展 』

- 国立西洋美術館（上野） 10/6 ~ 1/6 「ムンク展」
- 東京国立近代美術館（竹橋） 10/27 ~ 12/24 「天空の美術」
- 東京都現代美術館（清澄白河） 10/27 ~ 1/20 「SPACE FOR YOUR FUTURE」
- 東京都美術館（上野） 10/10 ~ 12/24 「フィラデルフィア美術館展」
- 国立新美術館（六本木） 9/26 ~ 12/17
「国立新美術館会館記念 アムステルダム国立美術館所蔵
フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展」
- 東京都庭園美術館（目黒） 10/6 ~ 12/16
「世界を魅了したティファニー 1837 - 2007」

※ このメールは以下の皆様に配信させて頂いております。

- ・ 弊社コンサルタントが名刺交換をさせて頂いた方。
- ・ 日本フランチャイズ総合研究所にお問い合わせをいただいた方

※ ご意見、ご要望、ご質問は下記アドレスまでご連絡ください。

尚、配信停止をご希望される場合も、下記までご連絡ください。

Mail to: franchise-news@the-franchise.co.jp

発行者：株式会社 日本フランチャイズ総合研究所

代表取締役所長 内川 昭比古

〒102-0083

東京都千代田区麹町4-4 麹町シャインビル2F

TEL 03-3511-3755 (代)

FAX 03-3511-3754

<http://www.the-franchise.co.jp>

Mail to: franchise-news@the-franchise.co.jp